

「もりや公益活動促進協会助成金」検討委員会の報告

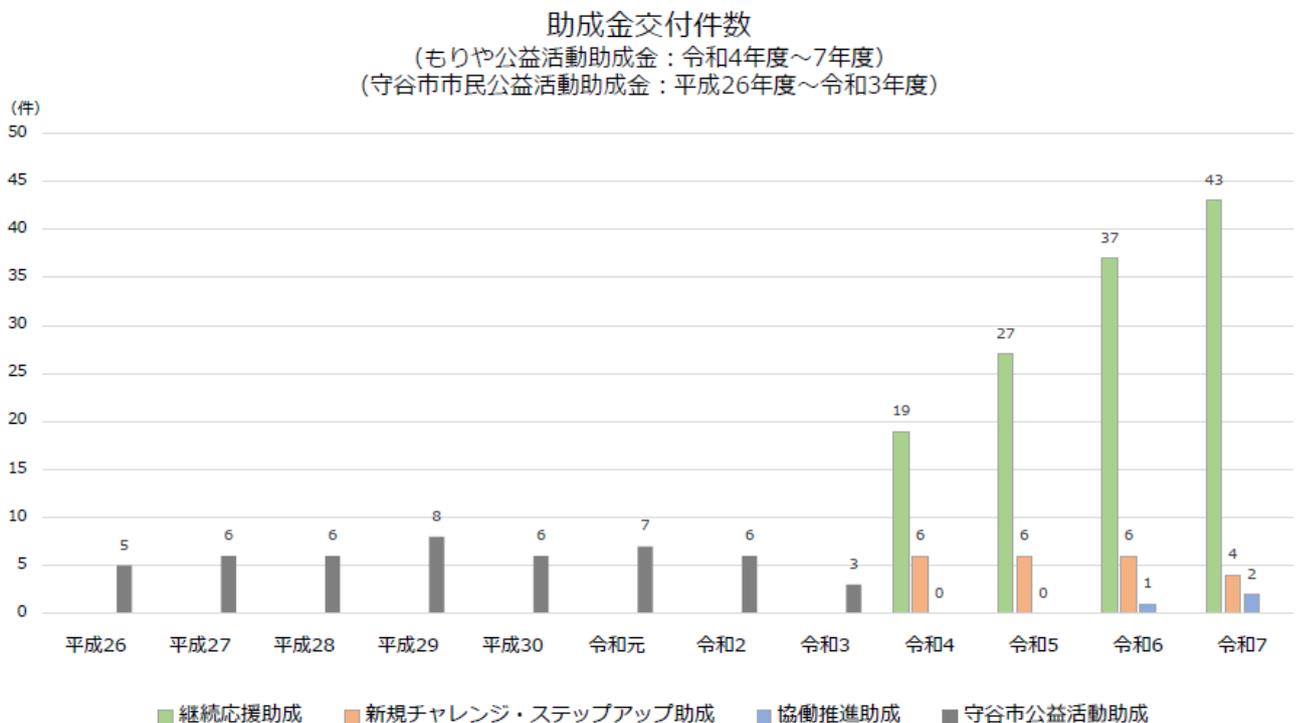
1. 背景

守谷市が直接実施していた市民活動団体に対する補助事業については、令和3年度に設立された「もりや公益活動促進協会」に移行され、令和4年度から開始された助成金事業も今年で4年目になる。

助成事業を実施する中で成果とともに様々な課題が見えてきたため、事業を評価し、課題整理や再検討を行うために、令和7年5月に「助成制度検討委員会」を立ち上げ、5回の委員会を開催し、検討を重ねた。

2. これまでの成果

① 申請件数の増加



守谷市が直接実施していた「守谷市市民公益活動助成金」では、1年度の助成対象活動が3～8件で推移していたが、「もりや公益活動助成金」では、助成件数が大幅に増加した。特に、「継続応援助成」のコースは小規模な市民団体にとって申請しやすく、申請書類の作成支援の相談会など市民団体に寄り添った支援が行えている。

※守谷市市民公益活動助成金は、年度内の助成金上限を20万円として、同一団体の申請上限は3回までだった。

※もりや公益活動助成金は、「継続応援助成（上限金額3万円、申請回数制限なし）」・「新規チャレンジ・ステップアップ助成（上限金額15万円、申請回数3回まで）」・「協働推進助成（上限金額30万円、申請回数2回まで）」と3種類のコースがあり、市民団体の活動状況や活動規模に応じて申請できる。

②助成団体同士の交流

助成交流会を開催し、助成団体同士が連携できる場や若い世代が運営する市民団体との関係性構築を行った。

③情報発信

助成活動の現場訪問を行い、ブログによる情報発信など助成活動の意義や情報発信などを行った。

3. 課題と今後の対応策（一部抜粋）

	課題	今後の対応策
1	<ul style="list-style-type: none"> ・「新規チャレンジ・ステップアップ助成」の3年間の助成期間終了後に財政的に自立困難な活動団体がある。 ・活動団体が活動していくための自主財源の確保について学ぶ機会が不足している。 	各団体に民間の助成金など他の助成金事業の情報を積極的に提供していく。
2	市民活動団体への伴走支援（※）の十分な体制が整っていない。	有識者へアドバイス等を依頼し、事務局の支援力を強化していく。
3	現在の3つの助成コースに対して、これまでの実績を踏まえ、助成上限額や助成件数の設定を見直す必要がある。	下記のとおり変更

※伴走支援・・・助成団体の活動の進捗状況やそれを支える組織としての課題をヒアリングし、助言や必要な運営サポートを行うことを通じ、活動の持続可能性向上と自立に向けて組織基盤を側面的に強化すること

コース名	現在			R7 申請（実績）		変更案		
	件数	上限金額	合計金額	件数	金額	件数	上限金額	合計金額
公益活動継続応援助成	50	¥30,000	¥1,500,000	43	¥1,290,000	50	¥30,000	¥1500,000
新規チャレンジ・ステップアップ助成	6	¥150,000	¥900,000	4	¥600,000	4	¥150,000	¥600,000
協働推進助成	2	¥300,000	¥600,000	2	¥600,000	2	¥450,000	¥900,000